

# 図画工作科 学習指導案

第3学年

I 題材名 「ねん土 マイタウン」 絵や立体・工作に表す活動（3時間）

## II 学習指導要領上の位置付け

本題材は、

A 表現

(1) イ

絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。

(2) イ

絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

B 鑑賞

(1) ア

身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。

[共通事項]

(1) ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。

イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

に基づいて具体的に教材構成したものである。

## III 目 標

ア（知識及び技能）

- ・粘土で住みたい町をつくる時の感覚や行為を通して、形の感じ、組み合わせによる感じが分かる。（知識）
- ・粘土や粘土ベラなどを適切に扱い、前学年までの粘土や粘土ベラなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。（技能）

イ（思考力、判断力、表現力等）

- ・様々なまちの画像を見て感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、形や用具を生かしながらどのように表すかについて考える。
- ・自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
- ・形の組合せによる感じを基に、自分のイメージをもつ。

ウ（学びに向かう力、人間性等）

- ・粘土を伸ばしたり、切ったり、付けたりして立体に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開（1／3）

- 1 ねらい 粘土でまちをつくる活動を通して、粘土の特徴を生かして、自分が住みたい町をどのように表すかを考えることができる。

## 2 展開

学習活動（分） ○：留意点 点線囲：評価 ☆：振り返りの子供の意識

### 1 表現の見通しをもつ。（7分）

- 様々な「まち」の画像を提示し、画像から受ける印象を児童に聞くなどして、どんなまちなのかをイメージできるようにする。
- 題材名を示し、一人一人が住んでみたいまちをつくり、大きなまちにつなげていくことを提案する。

【題材の課題】 ねん土のよさを生かす「しょく人」になって、  
住んでみたい「マイタウン」をつくろう！

- 共用油粘土を使用するため、友達のみちとどンドンつながってもよいことを伝える。

めあて ねん土のよさを生かして、住んでみたいまちの表し方を考えよう。

### 2 表したいことを発想・構想する。（33分）

- 「切って かき出し くっつけて」で制作した作品を鑑賞する活動を通して、用具と技法、材料のもつ特性について確認し、それらの特性を作品製作に生かせるようにする。  
用具：ねん土べら・かきべら・切り糸・わりばし・ようじ・ラップしん  
わざ：のばす・まるめる・切る・かき出す・ひねる・くっつける・つむ・おしつける
- 粘土を使用する際のルールを確認する。
- 粘土の特徴を生かしながら、住んでみたいまちを粘土で表すよう促す。
- つくりたい形が思い付かない児童に対して、導入で提示した「まち」の画像からどんなイメージをもったかを聞いたり、どんなわざを使ってみたいかを問いかけたりする。

・形の組合せによる感じを基に、自分のイメージをもちながら、様々なまちの画像を見て感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、形や用具を生かしながらどのように表すかについて考えている。＜発想・構想＞（観察・対話）

### 3 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）

- つまようじと画用紙で作った氏名入りの旗を一人一人に配布し、自分のまちに立てるよう促すことで、自分の作品に愛着がもてるようにする。
  - 自由に歩き回りながら行う中間鑑賞会を設定することで、自他の作品のよさや面白さに気付くことができるようにする。
  - 鑑賞する際、「ねん土のよさを生かしている部分を見付けよう」など、鑑賞の視点を明確にすることで、児童がめあてに即した振り返りができるようにする。
- ☆ねん土の特ちょう（よさ）を生かすと、自分が思った形の建物や庭ができたぞ。  
☆ねん土をねじったりのぼしたりして使うと、面白い形の町ができたぞ。友だちの町とつなげたいな。

指導計画 図画工作科 第3学年 「ねん土マイタウン」(全3時間計画)

<p>目標</p>	<p>粘土で住みたいまちを表現する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。                  ア・粘土の感覚や組み合わせの経験を生かし、手や体全体を                  イ・様々な様子の粘土を工夫して表したいことを見付け、形や用具を生かしながら                  ウ・粘土の感覚や組み合わせの経験を生かし、手や体全体を                  (知識) 感じが分かる。                  (技能) 表現したいことを見付け、形や用具を生かしながら                  (思考力、判断力、表現力等) 表現したいことを見付け、形や用具を生かしながら                  (鑑賞) 表現したいことを見付け、形や用具を生かしながら</p>				
<p>評価規準</p>	<p>知識・技能                  ・粘土の感覚や組み合わせの経験を生かし、手や体全体を工夫して表現する。(知識)                  ・粘土の感覚や組み合わせの経験を生かし、手や体全体を工夫して表現する。(技能)</p>	<p>思考・判断・表現                  ・形の組合せによる感じや想像を基にした表現の工夫を工夫して表現する。(発想・構想)                  ・形の組合せによる感じや想像を基にした表現の工夫を工夫して表現する。(鑑賞)</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度                  ・つくりだす喜びを味わい進んだ活動に取り組む。(表現)                  ・つくりだす喜びを味わい進んだ活動に取り組む。(鑑賞)</p>		
<p>過程</p>	<p>時間                  ○ねらい                  めあて</p>	<p>☆振り返り(意識)</p>	<p>◇評価規準&lt;評価方法&gt;                  知技 思判表 態</p>		
<p>出会う</p>	<p>1                  ○様々な「まち」の画像を提示し、児童がイメージできるようにする。                  ・題材名を示し、一人一人が住んでみたいまちをつくり、大きなまちにつなげていくことを提案する。</p>	<p>☆いろいろなまちがあるな。あのまちに住んでみたい。</p>	<p>――</p>		
<p>試す・広げる</p>	<p>【題材の課題】                  ねん土のよさを生かす「しょく人」になって、住んでみたい「マイタウン」をつくろう！</p> <p>・共用油粘土を使用するため、友達のまちとどんどんつながってもよいことを伝える。</p> <p>めあて                  ねん土のよさを生かして、住んでみたいまちの表し方を考えよう。</p>	<p>☆たくさんねん土が使えるなら、大きい作品もつくられるし、友だちといっしょにつくれるよ！</p> <p>☆のばす、まるめる、切る。かき出す、ひねる、くっつけるなど色々なわざがあったな。</p> <p>☆ねん土の特ちょう(よさ)を生かすと、自分が思った形の建物や庭ができたぞ。</p> <p>☆ねん土をねじったりのぼしたりして使うと、面白い形の町ができたぞ。友だちの町とつなげたいな。</p>	<p>発・構                  観察                  対話</p>		
<p>表す</p>	<p>○「切って かき出し くっつけて」で制作した作品を鑑賞する活動を通して、用具と技法、材料の特性を生かして、どのように表すかについて考えることができるようにする。</p> <p>○自由に歩き回りながら行う中間鑑賞会を通して、自他の作品のよさや面白さに気づき、表現に生かせるようにする。</p> <p>・鑑賞する際、「ねん土のよさを生かしている部分を見付けよう」など、鑑賞の視点を明確にするこころで、児童がめあてに即した振り返りができるようにする。</p> <p>・氏名入りの自分模型を連れて行きたいまちを探検することを提案する。</p>	<p>☆友だちのまちとつなげたいな。道路や橋がひつよ</p> <p>☆あんなに行きたい！とあんなに行ってつなげてみよう。</p> <p>☆友だちの作品の建物とつなげるには、ねじったねん土を工夫しよう。</p>	<p>知識                  観察                  対話                  作品                  技能                  観察                  作品</p>		
<p>振り返る</p>	<p>○グループで「マイタウン」をつなげ、学級全体で大きな「マイタウン」にする活動を通して、自分や友達の表現のよさや面白さを意識できるようにする。</p> <p>めあて                  友だちのまちとどんどんつなげて、みんなが住みたい「マイタウン」をかんせいさせよう！</p> <p>・つまようじと画用紙で作成した氏名入りの旗を一人一人に配布し、自分のまちに立てるよう促す。</p>	<p>☆形や模様が工夫されていてすてきだね。</p> <p>☆こながお気に入り。みんな来てのまぢができてあがったぞ。みんなであつたよ。</p> <p>☆友だちの作品とつなげる自分一人ですてきな形のまちになった。</p>	<p>鑑賞                  観察                  対話                  作品カード</p>		